

「自動血液凝固分析装置（CS シリーズ・CN シリーズ）が出力する凝固線溶波形を用いた凝固異常および血栓脆弱性の病態解析と臨床応用」に関する研究について

公益財団法人天理よろづ相談所病院 臨床検査部は、2018年8月から2021年3月までの期間に、凝固検査を受けられた患者さんの残余血液を用いて研究を実施しております。内容については下記に記載しています。本研究について、ご質問等ございましたら、最後に記載しております「問い合わせ窓口」にご連絡ください。

【研究名】

自動血液凝固分析装置（CS シリーズ・CN シリーズ）が出力する凝固線溶波形を用いた凝固異常および血栓脆弱性の病態解析と臨床応用

【研究背景・目的】

血液の固まりやすさ・固まりにくさ（血液の凝固）や血液をサラサラにする薬の効果をみる検査に、プロトロンビン時間や活性化部分トロンボプラスチン時間という検査があります。これらの検査は血液凝固分析装置(CS シリーズ：シスメックス社)という装置を用いて血液が固まる（凝固）までの時間を数字として測定しますが、その際、同時に血液が固まる様子をグラフ化することができます。このグラフ化した図から血液の固まりやすさや固まりにくさの微妙な違いを専用のソフトを用いて解析するとともに、私たちも独自にソフトを開発し、これまでの検査では見逃されがちだった血液の凝固異常の病気を今までより早く発見し、早期治療に繋がりたいと考えております。また治療薬のモニターにも活用し、治療効果の判定や副作用の防止にも役立てたいと考えています。

【取り扱う試料および診療情報】

凝固検査用に採取された患者さんの血液の残余成分を使わせていただきます。使用する診療情報は、疾患名、性別、年齢および診療で用いられた臨床検査データです。

【個人情報保護の方法】

使用する診療情報は連結可能匿名化（暗号化）した後、研究に使用します。これは特定の個人を識別することはできません。

【倫理上配慮すべき事項】

本研究は診療目的に採血、測定された検体および検査結果を用いるため、患者さんの負担となるような行為はありません。

【研究結果の発表について】

この研究結果は、検査の向上・発展のために学会発表および学術論文として公表される予定ですが、患者さんの血液および診療情報は連結可能匿名化（暗号化）されていますので、

第三者・本研究担当者に患者さんの情報が明らかになることはありません。

【研究への血液および診療情報使用の取り止めについて】

本研究にご賛同いただけない場合は下記にご連絡をお願いします。取り止めに希望される場合には、「問い合わせ窓口」にご連絡ください。取りやめを希望された場合、患者さんの血液および診療情報を本研究に用いません。また、研究に賛同されない場合でも今後の診療には全く問題はございません。

【問い合わせ窓口】

この研究についてのご質問に関することは、
公益財団法人 天理よろづ相談所病院 臨床検査部 部長 上岡樹生
電話番号：0743-63-5611（代表）にお問い合わせください